

寄付金と応援旗 本社が光星へ寄贈

甲子園での奮闘祈願

デーリー東北新聞社は26日、3年ぶり11度目の夏の甲子園出場を決めた八戸学院光星高野球部に、応援フラッグと寄付金を贈った。

フラッグは同社の社内分社「東北のデザイン社」が製作。本社や総支社局、本紙販売店などに掲示し、甲子園での奮闘を祈願する。寄付金は大会での活動費に役立ててもらおう。

26日は荒瀬潔社長が同校を訪れ、中村良寛校長にフラッグ300枚と寄付金の目録を手渡した。

中村校長は「立派なフラ

ッグをありがとうございます。これと謝意を示した。これに対し、荒瀬社長は「私たちも盛り上げをお手伝いするので、ぜひ健闘してほしい」と述べた。

（福田駿）



中村良寛校長（右）に目録を手渡す荒瀬潔社長。26日、八戸市